

飲食店のトイレ通路には、アルコール消毒液設置の義務付けを！

接触感染がメジャーな理由

日本でコロナ患者が出始めの頃、愛知県蒲郡市のカラオケパブでの出来事を覚えておられる方はいますでしょうか？

とある男性（その後死亡）がコロナにかかり、自暴自棄になり、誰かにうつしてやろうと思い、耳元でがんがんカラオケを歌われた女性は感染をせず、彼が座ったソファに、あとから座った別の女性が感染したという話です。

感染のメカニズムは、彼の手にはウイルスが付着しており、彼が手を置いたソファにウイルスを付着させ、そのソファに後から座った女性は同じ場所に手を接触させてしまい、そして手にウイルスをつけた状態で目鼻口に触り、感染したと考えられます。

高齢者施設などでのクラスターの多くが「接触感染と報告」されており、一般的な感染も接触感染がメジャーと考えられます。

なぜなら、満員電車やバスはずっと走っており、とても密でありながら、換気も人数比では不十分で、飛沫感染や空気感染等の爆発的な発生の報告がないからです。

私は、飲食店等のトイレのドアノブが問題だと思っています。なぜなら、一般的に入店時にアルコール消毒をするのが通例ですが、それだけに手はきれいと思い、目鼻口に触ったり、ピザなどを手をつまんで食べます。

潜在的な（症状が出ない）感染者は、このとき手先にウイルスを付着させてしまい、トイレに行くと、外側のドアノブにウイルスを付着させてしまう。

その後、一般の人がトイレに行くと、トイレ内で手先を洗うので、まさかドアノブにウイルスが付着しているとはつゆ知らず、トイレから出るときにしっかりと、手先にウイルスを付着させ、しかも自分としては、手はきれいになったと思い込んでおり、目口鼻に触ったり、食べものを手をつまんで食べるので、一直線で感染してしまいます。

感染者の目鼻口→手先→トイレドアノブ

トイレドアノブ→手先→目鼻口で感染する



この対策としては、トイレ通路にアルコール諸毒液を置き、トイレ帰りには必ず消毒するよう義務づけすることで、感染が急減すると考えています。

公衆トイレでは、ドアノブに触れた後に手を洗うが、基本的に消毒ではないので、従来より念入りに「石鹼液をつけて手を洗う」必要があります。

また、あちこちの公共の場所で、共通で手で触れる箇所を触ったのち、目鼻口に触った場合も感染のリスクがあり、スマホの表面にウイルスを付着させた後に、(手を洗ってからスマホ操作してしまえば、トイレドアノブと同様に)、目鼻口に触れば、感染のリスクがあります。

感染者の目鼻口→手先→公共のモノ

公共のモノ(スマホ経由を含め)→手先→目鼻口で感染